

重点目標

「よくきき よく考えよう」

ミッション

「対話と協働により、児童一人一人の可能性を引き出し伸ばす」

雨にも負けず最後まで

第18回南相馬市総合体育大会陸上競技が、9月21日、雲雀ヶ原陸上競技場で開催されました。雨の中での大会でしたが、本校からは9名の女子と3名の男子が欠場することなく全員が参加しました。びしょ濡れになりながらも、自己ベストを目指し最後まで走り抜く子供たちの姿に感動しました。なぜ、子供たちはがんばれたのでしょうか。なぜ、チャレンジできたのでしょうか。いろいろな要因があると思います。

まず、一つ目に考えられるのは、夏休み以降の放課後に先生方と一生懸命に練習してきたことです。特に今年は猛暑が続き、辛い練習が多かったと思いますが、本当によくがんばったと思います。

二つ目は、保護者の方からの励ましの声かけがあったからだと思います。当日も全員の保護者の方に来ていただき応援していただきました。本当にうれしいことです。

三つ目は、子供たち一人一人が雨のコンディションでも、柔軟に対応できる心を持っていたことです。「やっちゃんねー」、「なんで雨なんだ」と考えず、「みんな同じ」と考え、心を前向きすることができたのではないのでしょうか。

三つ目のことは、前号で紹介しました自己肯定感と深く関わっていると思います。今回の陸上大会のように、様々な体験を積み重ねることによって、子供たちは自信をつけ、自己肯定感を高めていきます。そして、その自己肯定感の高まりが自己効力感につながり、「自分ならできる」「きつとうまくいく」など、次のチャレンジになります。これからも成功体験を積み重ねながら、自分の可能性を広げ、変化の激しい時代をたくましく生き抜く力を蓄えてほしいと思います。

